



自然豊かなインドネシアの情報を日本に伝えて 二国をつなぐお手伝いができたらいいですね。

◀「日本人が互いの気持ちを察して思い合うというところに、とても興味があります。日本人の、いつも人を喜ばせることを考えられる心を自分も身につけたいですね」と語る、ムハマッドさん。

FUTURE WORKS 経営

ムハマッド ヌズライ さん

■来日のきっかけは？

アイム・ジャパン((公財)国際人材育成機構)が行っている外国人技能実習生の受入事業を友だちから紹介されて、試験を受けてみたら合格したので、日本に来ることになりました。来日前は三ヶ月間びっしり日本語を勉強しました。来日後は一ヶ月間ほど東京で日本語を勉強したあと、東近江市のレンタル足場の会社に配属されて、働き始めました。

■日本に来られる前、日本に対してどんなイメージを持っていましたか？

インドネシアでは日本の映画などがよく上映されていましたが、それはサムライなどが出てくる昔の映画だったんです。特に「おしん」というドラマは世界中で放映されていますから、日本はそのドラマのままの所だと思っていました。だから成田空港に着いたとき「あれ？日本ってこんな所だったんだ」と驚きました。

■三年の実習期間後も日本に来られて住み続けようと思ったのはなぜですか。

東近江で働いている間に、インドネシアに興味を持つ日本人の友だちができ、その人の紹介で今の妻と運命の出会いをしました。また、三年の実習だけではまだまだ物足りなく、勉強したいという気持ちもあったので、一旦インドネシアに帰国して結婚し、三ヶ月後にまた日本に戻ってきて近江八幡市で暮らし始めました。

■日本人の友だちとは、どのように出会ったのですか。

あるときお祭りの会場で、私の先輩が履いているスリッパを見て「インドネシアの人ですか」と声をかけてきてくれました。そのスリッパはインドネシア独特のもので、知っている人が見ればすぐ分かるものだったのです。それで「そうです」と答えると、それがきっかけで友だち

になりました。私たちの寮に遊びに来てくれるようになり、友だちになりました。それ以来、いろんな所に連れて行ってもらったり、日本のことを教えてもらったりしましたね。出会ってからそろそろ15年になりますが、今でも変わらず、大切な友だちです。

■日本で仕事をしていて、辛いと思ったことはありませんか。

それはいいですね。みんないい人だったし、私自身もいろんな人と話すのが好きなので、日本人とも積極的に話すように心がけていました。ただ、日本人の仕事のやり方に馴染めないところはあります。私は決められた時間の中でゆっくりと仕事をするタイプですが、日本人は何でもテキパキ、さっさとやろうとします。そのテンポに合わせるのが難しいですね。風習の違いでは、私はイスラム教徒なのでラマダン(断食月)があり、期間中は日が沈むまで飲食はしないのです。日本人には不思議に思われますが、人と関係なく自分が何をしたいのが大事ということを実感する期間になっています。

■今はインドネシア産マグロの輸入に携わっているそうですね。どうしてこの仕事を始められたのですか。

一時期名古屋の貿易会社に勤めていたことがあり、その経験を生かした仕事をしたいと考えていました。インドネシアでは質の高いキハダマグロが獲れるのですが、地元では生のマグロは食べないので、そのおいしさを知らないんです。私は来日三年目に初めて食べましたが、とてもおいしくてびっくりしましたね。インドネシアには、日本に輸出できるものが実はたくさんあるので、マグロからスタートして、日本とインドネシアの貿易をお手伝いし、日本とインドネシアを結びつけられたらいいなと思ったんです。

●プロフィール●

インドネシア共和国スマトラ島生まれ。日本企業への外国人技能実習生受入事業を行っているアイム・ジャパンの実習生として20歳のとき来日。東近江市で3年間の研修期間を終えて帰国。研修期間中に会った日本人女性との結婚を機に再来日し、近江八幡で暮らし始める。以来様々な職を経験し、現在は運輸会社勤務の傍ら、インドネシア産マグロ輸入に携わっている。また、近江渡来人倶楽部の開催する「ヒューマニティフォーラム」でパネリストを務めるなど、多文化共生のための活動に積極的に取り組んでいる。妻との間に6歳と0歳の2人の子どもがいる。

■マグロなど食品の輸入だけでなく、いろんな分野に広がっていきたくて考えておられるのですか。

そうですね。今は日本の企業とインドネシアにあるモノとが結びついていないんです。日本の企業も、インドネシアで良いものが作れるかどうか不安だと思いますし、インドネシア側も、日本にモノを売りたいけどもどういうふうにつながりを作れば良いか分からない状態です。そこに入って行って、取り次いでいければいいなと思っています。

■今後日本で、仕事以外でやってみたいことは？

実現するかどうかはわかりませんが、いじめの問題を解決するために力になれないかと思っています。私の育った地域でも以前、学校同士でのケンカが大きな問題になったことがあり、各学校の生徒の代表が集まり、社会人から学ぶ教育プログラムを作りました。現在でも後輩へ引き継がれ、子どもたちに社会に出ていくことを教える団体として活動しています。同じようなことが、日本でも出来たらいいなと思っています。

中学生といえば自分の夢や希望があり、自分から進んで前へ出ていける年頃です。将来に向けて幅広い道を選べるときなので、自分の経験を学校で話すなどして、彼らが自分の夢を実現する一歩を踏み出せるよう応援する活動をしていきたいですね。